

## 令和3年度「東京都環境影響評価審議会」第一部会（第4回）

日時：令和3年7月13日（火）午前10時30分～

形式：Webによるオンライン会議

### —— 会 議 次 第 ——

- 1 環境影響評価書案に係る質疑及び審議  
（仮称）西日暮里駅前地区第一種市街地再開発事業【3回目】
- 2 その他

#### 【審議資料】

- 資料1 「（仮称）西日暮里駅前地区第一種市街地再開発事業」部会審議質疑  
応答

<オンラインによる出席者>

審議会会長 柳委員

第一部会長 齋藤委員

荒井委員

奥委員

玄委員

高橋委員

堤委員

平林委員

水本委員

森川委員

横田委員

(11名)

木村政策調整担当部長

宮田アセスメント担当課長

下間アセスメント担当課長

「(仮称) 西日暮里駅前地区第一種市街地再開発事業」  
環境影響評価書案 部会審議質疑応答

項目	番号	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
大気汚染	1	計画地に入ってくるバス、タクシー、来場者も含めて、調査予測評価の中に(特に「大気汚染」の予測評価の中に)、反映されているのか。	大気では、この施設を利用する車両を考慮して検討し、予測している。	5/13 部会にて回答
		おそらく現在でも路線バスやタクシーが入ってきていると思うが、それを前提に、現況と同程度の台数を処理できるような交通広場を整備した上での評価結果になっているということによいか。	現在は駅前にタクシープールのようなものはなく、供用後の関係車両の走行については、施設に来る車両及び、周辺を利用する車両状況を勘案した予測になっている。	
騒音・振動	1	車両の走行に伴う交通騒音の予測の方法に関して、音響学会の予測モデルユニット RTN-Model2013を使っているが、最新版のModel2018が出ているので、最新版を使ったほうがいいのではないか。	最新版が Model2018 ということは認識している。 予測評価を行う段階では、Model2018 が公表されていたが、詳細な説明がでていなかった。また、評価書案の提出から変更があり、審議会にあがるまでに時間がかかったため、Model2013 を使用している。 予測値そのものが大きく異なることはないと考えている。	5/13 部会にて回答
		予測結果が大きく変わることはないかと理解しているが、時間的余裕があれば Model2018 を使うように検討してほしい。	検討する。	
	2	P105 表 8.2-7 では、尾久橋通りの騒音が環境基準値を超えていて、工事用車両等によりさらに上乘せされると思われるが、工事用車両の走行をできるだけ分散させるなどの対策は考えているか。	予測結果としては、現状値に対する寄与はほとんどないと考えている。 ただ、環境保全のための措置として、工事用車両の平準化に努めるなど、工事中の配慮事項として実施していく。その旨は評価書案にも記載している。	6/22 部会にて回答

項目	番号	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
土壌汚染	1	工場としての利用実績があるということだが、工場の具体的な内容・種類・規模はどういったものか。	計画地の一部が工場だったが、非常に古い時代のことなので、どのような工場であったかは追いついていない。 工事を行う中で必要に応じて対策をしていく。	5/13 部会にて回答
水循環	1	崖線の緑地の下の環境で流出してくる水の量と、それに対する雨水貯留槽のバランスについて、どのような検討をしているのか。	雨水貯留については、区の基準に基づいて整備を行う。 貯留・排水施設の配置や透水性舗装等については、定量的な予測が難しいため、評価書案では定性的な記載となっている。 ただ、環境保全のための措置として、排水設備を整備することを記載している。  (回答補足) 荒川区市街地整備指導要綱では、雨水貯留槽との併用型を含む防火水槽の基準はあるものの、雨水貯留槽の設置については、今後、協議において定まる見込みのため、現段階では定量的な予測は難しい。	6/22 部会にて回答
		貯留浸透設置基準をもとに、降雨量に対する貯留槽の容量を検討しているということを、地域に対する説明根拠として示していくとよい。	承知した。	
	2	西日暮里駅の雨水の処理と一体的な配慮などは検討したか。	本事業では駅の整備は含まれていないので、検討はしていない。	6/22 部会にて回答
日影	1	敷地境界より 5mから 10mの範囲にある住宅は、日照規制対象外ではあるが、評価している冬至においては影が 5 時間以上になることを考えると、「この期間には基準を超える影が出るが、他の時間では大丈夫」というような詳細を記載して、住民へ伝える必要があるのではないか。	本事業では、建物の周回に道路を回し、計画地南側に建設するように配慮しているが、冬至の時には計画地北側に影がでてしまう。 204 ページより、計画地北側の住宅では、春秋分の日中の時間帯に影ができてしまうが、朝晩は影になっていない。また、夏至では現状とほとんど変わらないところではあるので、住民へ丁寧に説明していくことになると考えている。	5/13 部会にて回答

項目	番号	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
風環境	1	ランク 1 となっている地域は、計画地周辺の中で具体的にどこの位置になるのか。	P236,237 より計画地の外側はほぼランク 1 で、一部北東側はランク 2 のところが出てきている。 建物形状の工夫等でランク 1 に概ね収まる。	5/13 部会にて回答
		風環境の評価は確率的な評価手法となってしまうので、例えば、1.2m以下の風速で設計するといっても、それを超える風が吹くこともある。よって、評価結果を住民に伝えるときには、確率的な評価手法であることをしっかり伝え、お互い理解したうえで事業を進めてもらいたい。	承知した。	
	2	建物周辺の風を緩和するための植栽について、計画地北側の植栽の成長に影響はないか。	計画地北側の植栽については影になるところがあるため、どういった樹種を選定するかを今後検討していく。	5/13 部会にて回答
廃棄物	1	アスベストに関する記述がないように思うが、解体される建物の中にアスベストがあるか不明なため、記載していないのか。または、アスベストがないことを確認した上で記載していないのか。	現在、計画地内に建物があるが、詳細な調査はできていないため詳細な記載はしていない。アスベストについては、今後適切に対応することで考えており、見解書では、必要に応じて対応するとの記載をしたと記憶している。  (回答補足) 見解書 p 56「廃棄物」の項に、「解体に際しては、石綿含有建材の使用状況を調査・確認し、使用が確認された場合は、関係法令に基づき適切に処理を行います」と記載している。	5/13 部会にて回答
温室効果ガス	1	31 ページより、「環境保全に関する計画等への配慮の内容」が記載されている中で、東京都では「ゼロエミッション東京戦略」があるが、それに対する配慮はあるか。	ゼロエミッションの取組については、確認させてほしい。  (回答補足) 現時点では明確に記載できる事項はないが、今後、計画を具体化していく中で、設計時、施工時において温室効果ガスの削減に努めていきたいと考えている。	5/13 部会にて質問  6/22 部会にて回答

項目	番号	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
その他	1	16 ページより、本事業で周回道路や交通広場も一緒に整備すると思うが、バスやタクシーの待機スペースをどこに確保するかや、どれぐらいの台数が入ってくるかといった詳細な情報の記載がない。	周回道路については区道なので、荒川区のほうで整備される計画になっている。 また、交通広場にバスやタクシーは入ってくるが、詳細な計画はこれから荒川区のほうで検討する。	5/13 部会にて回答
		計画地に入ってくるバス、タクシー、来場者も含めて、調査予測評価の中に（特に「大気汚染」の予測評価の中に、）反映されているのか。	周回道路は荒川区が整備する計画であるが、再開発としては一体であり、防風対策などは交通広場や周回道路の植栽も含め予測している。	
	2	交通広場の整備によって、公共交通の流れや地域全体の新しい交通の流れが変わるような計画・動きはあるのか。	交通の広域的なバスルートの変更等については、荒川区やバス会社の運行に関わってくるため、回答ができない。 ただ、計画建物の住民や利用者が来ることによる交通の渋滞は考慮して予測している。	6/22 部会にて回答
		交通広場の整備は本事業の中で一体的に整備するのか。	整備としては、交通広場も一体的に行うが、計画等を含め荒川区が検討している。  (回答補足) 本事業は、駅前の交通広場も含めた一体的な再開発事業であるが、交通広場は荒川区が整備することとなっている。評価書案の中では、計画建物を利用する将来交通量を含めた予測としている。	
	3	計画の中で、ホールや商業施設の利用者向けの地下駐輪場があるが、駅利用者向けの駐輪場は用意されているか。 また計画地周辺の駐輪場の状況も含めてどのようになっているのか。	現在、駅周辺に駅利用者向けの駐輪場が整備されていて、自転車が溢れている状況ではない。 駅利用者の駐輪場は、交通広場と同様に荒川区で整備を計画している状況だと思われる。	6/22 部会にて回答